



サイコロトーク②

燕市に期待することは、どんなまちにしたい？

北島：燕市は燕市として、プレッシャーを感じないと思います。住宅地をたくさん造って人口を増やすということも大切ですが、田畑の風景が残るまちであってほしいです。ゆくゆくは燕市に引越して来たいと考えていますが、そのときも自然豊かなまちのままであってほしいです。

市長：人口が増えますね（笑）。ありがとうございます。子育てするなら燕市が良いですよ。制度が充実していますから。

加藤：私は人と人との繋がりを大切に、活気溢れるまちであってほしいです。

例えば商店街に何回も足を運ぶうちに、自然と顔や名前を覚え、人との繋がりができていく。そして、またそこにいた人と話をして繋がっていく、というように。
市長：人の繋がりが大切ですよ。活気があるまちになるように、一緒に燕市を



サイコロトーク③

今後の目標や将来の夢について教えてください！

加藤：私は、窓口や現場で市民の皆さんから相談を受けたとき、丁寧に対応することを心がけています。いつかは上司のように頼れる存在になることが目標です。

北島：社会人として、父親として頼れる大人になることが目標です。上司や先輩は業務内容を熟知していますし、現場で市民の皆さんに説明する姿は理想の職員像です。先輩たちの背中を見て、自分も信頼される職員になりたいと思います。

市長：なるほど。学生の皆さんはいかがですか。

井塚：1級建築士を目指しています。建築は建物の設計のほか、設備や構造計算、都市計画などの分野があります。私は都市計画に関心を持っていきます。吉田駅前周辺などで老朽化した建物がどんどん壊されていますが、今後どうなっていくのだろうと

思っています。
市長：都市計画に興味があるのであれば、空き家問題を絡めてはどう？ 吉田駅前周辺では燕ジョイ活動部が活動しているし、将来のためにも加わるのもいいかも。具体的に動き出しているプロジェクトもあるし、研究テーマとして

盛り上げていきましょう。
山口：私もみんなで盛り上げられる明るいまちになってほしいなと思います。

例えば、夏まつりは毎年の恒例行事です。一大イベントで労力も経費も掛かり、感染症対策も大変だと思います。ですが、ぜひ続けてほしいです。たくさんの方が楽しめる場であってほしいと思います。

大倉：私はもつとスポーツで繋がりをつくれるまちになってほしいと思います。

小学生から高校3年生までの8年間、ジュニアチームで卓球をやっていたのですが、県内や県外のチームと交流ができ、知り合いも増えました。スポーツを通じて人としての幅を広げるといって、学校内だけでなく、いろいろな場もあることを子どもたちに紹介していきたいです。

堀：私は燕市の良いところをもつとPRしてほしいと思っています。燕市には、酒呑童子行列や工場の祭典など楽しいイベントがいっぱいありますよ。市外の友人はすごく楽しかったよと言ってくれるのですが、意外に市民は知ら

面白いと思います。

大倉：私は「言葉」にとても魅力を感じているので、将来は文章に携わる仕事に就きたいです。大学3・4年生になると就職活動も始まり、社会人になることも考えなくてはいけないので、学外の人との交流を深めながら、経験を積みみたいと思っています。

市長：文章に携わる仕事というのは、出版や編集ですか？ それとも新聞記者などマスコミ関係ですか？
大倉：事実を伝えたいというよりは、魅力を伝えられるような仕事に就きたいです。

山口：教育学部に通っていますし、塾の講師をやっています。子どもと話すことも楽しいので、先生になることが一番の目標です。でも、この先、別にやりたいことが見つければそちらを目指すかもしれません。いろいろなことに楽しんで挑戦できたら良いなと思います。

堀：私は社会に惑わされることのない大人になりたいです。将来は起業することも考えています。一昔前までは起業と言ったら銀行でお金を借りて、事務所を構えて電話を引

ないという…。

市長：そうだよ。市外の人の方がよく知っているんだよね。皆さんも、ぜひ燕市のホームページをチェックしてください。それから燕市公式LINEも毎日発信していますので、友だち登録をしてください。

井塚：私は都市計画に興味があるので、商店街が平日も休日でも賑わう場所になると良いなと思います。

実際に勉強していて、燕市の都市計画マスタープランに燕・吉田・分水にそれぞれ拠点を作り、各エリアを交通手段で繋ぐと盛り込まれていることを初めて知りました。分水であれば歩いて暮らせるまちを目指すとあるように、各地域の拠点が整備されていくと、活気がある良いまちになると思います。

市長：そういう市になれるように頑張ります！

いてというふうなことを考えたと思います。ですが、今はパソコンひとつあれば起業できる世の中です。こうあるべき、こうしなければいけないという考え方を捨てて、今

で誰も考えたことのないようなことにチャレンジしていきたいです。

市長：お互いに夢の実現に向けて、頑張りましょう。今日はありがとうございました。



「燕市都市計画マスタープラン」は、まちづくりの具体性ある将来ビジョンを確立し、地域別のあるべき姿、課題に応じた整備方針を定めています。

プランは、こちらから見るができます。

